2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年11月13日

上場会社名　　株式会社セルシード　　上場取引所　東
コード番号　　7776　　ＵＲＬ　https://www.cellseed.com
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）橋本　せつ子
問合せ先責任者　（役職名）取締役　経営管理部門長　（氏名）中岡　圭一郎　　ＴＥＬ　03-6380-7490

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	42	△35.0	△834	－	△835	－	△910	－
2025年12月期第３四半期	65	△52.8	△824	－	△823	－	△849	－

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	△23.51	－
2025年12月期第３四半期	△24.51	－

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	1,819	1,524	83.0
2025年12月期	1,655	1,268	76.0

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　1,509百万円　2025年12月期　1,257百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	－	0.00	－	0.00	0.00
2026年12月期	－	0.00	－		
2026年12月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50	△40.2	△1,225	－	△1,234	－	△1,309	－	△33.81

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
業績予想の修正については、本日（11月13日）公表いたしました「業績予想修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	39,539,819株	2025年12月期	35,557,719株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	156株	2025年12月期	156株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	38,713,146株	2025年12月期３Ｑ	34,666,263株

※　添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．経営成績等の概況　（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
（４）継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
２．四半期財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 5
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 6
（継続企業の前提に関する注記） …… 6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 6
（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 6
（セグメント情報等の注記） …… 7
（重要な後発事象） …… 8

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の成長戦略により民間投資が促され、設備投資は拡大基調で維持されました。また、堅調な企業業績を背景に継続的な賃上げ効果による所得環境の改善に支えられ、個人消費を中心に緩やかな景気回復基調が続きました。一方で、世界経済においては、米国の金融・通商政策の動向や、中東情勢をはじめとする地政学的緊張の長期化、さらには為替変動や資源価格の高止まりが国内の物価動向に及ぼす影響などから、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のなか、当社は前事業年度末に発行した第25回新株予約権の行使等を通じて、財務基盤の強化を図ってまいりました。併せて、継続的なコスト見直しによる財務体質の強化を推し進めつつ、中核事業である再生医療支援事業及び細胞シート再生医療事業の推進に全力を注いでおります。

この結果、当第３四半期累計期間における売上高は42,422千円（前年同四半期比22,838千円の減少）、営業損失は834,147千円（前年同四半期比9,556千円の増加）、経常損失は835,701千円（前年同四半期比11,904千円の増加）、四半期純損失は910,077千円（前年同四半期比60,565千円の増加）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① 再生医療支援事業(細胞培養器材、製造受託など)

細胞培養器材事業では、2026年７月８日から11日にカナダのモントリオールで開催された「ISSCR 2026（国際幹細胞学会）」においてブース出展および細胞シートCMC開発部による研究発表を行い、300人を超える海外の研究者との直接対話を通じ、当社の器材事業および全社的な取り組みについて情報発信を行いました。また、地政学的な緊張や政治的な不確実性が続くなか、海外市場における当社器材製品の販売拡大を目指し、販売を委託しているThermo Fisher Scientific Inc.と戦略的な協議を継続的に実施しております。国内市場においてはさらなる拡販に向けて効率的かつ効果的なプロモーションプランを精査し、積極的な宣伝活動を展開いたしました。

再生医療受託事業では、再生医療等安全性確保法に基づく特定細胞加工物製造許可及び薬機法に基づく再生医療等製品製造業許可を取得した細胞培養センター（CPC）において、CDMO（開発・製造受託機関）として各種サービスを提供しております。当第３四半期会計期間においては、再生医療に関する情報提供を通じた新たな事業機会の創出に向け、医療コーディネート企業向けのセミナー企画を進めるとともに、新規受託案件の獲得に向け、アカデミアとの関係構築や情報提供活動を積極的に推進いたしました。

引き続き、医療機関、企業及びアカデミアとの連携を強化し、新規受託案件の獲得と再生医療CDMO事業の拡大に注力してまいります。

以上のような活動の結果、売上高は37,944千円（前年同四半期比25,441千円の減少）、営業損失は100,725千円（前年同四半期比21,173千円の増加）となりました。

② 細胞シート再生医療事業

細胞シート再生医療事業では、同種軟骨細胞シートをはじめとする再生医療等製品の自社開発を中心とした研究開発を推進しております。

同種軟骨細胞シート（CLS2901C）につきましては、2023年９月20日に独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）へ第３相試験の治験届を提出し、2025年10月の第１例目の症例登録以降、計画に従い試験を進めております。なお、本試験の詳細や進捗につきましては、jRCT（https://jrct.mhlw.go.jp/latest-detail/jRCT2033230587）において情報を適宜更新しております。

また、2026年７月３日から４日に開催された「第54回日本関節病学会学術集会」において、関節領域の整形外科医に向けて、当社の再生医療への取り組みの認知度向上を目的とした幕間広告を掲出いたしました。

細胞シート事業に関する発信活動としては、2026年７月８日から11日にカナダのモントリオールで開催された「ISSCR 2026（国際幹細胞学会）」において同種軟骨細胞シートの有効性評価に関するポスター発表を行いました。

加えて、2026年９月12日から13日に東京で開催された「サイエンスアゴラ2026」においてトークセッションを実施し、若年層を含めた参加者に対して、再生医療および細胞シート工学の理解促進に向けた情報発信を行いました。

事業提携活動につきましては、事業化の加速及び将来の同種軟骨細胞シートの販売体制構築に向けて、複数の企業との事業提携や共同研究契約の締結に向け、積極的な活動を継続しております。

以上のような活動の結果、売上高は4,477千円（前年同四半期比2,602千円の増加）、営業損失は541,950千円（前年同四半期比36,187千円の減少）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第３四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末に比べて165,637千円増加し、1,687,154千円となりました。これは、現金及び預金が160,337千円増加したことなどによります。

当第３四半期会計期間末の固定資産は、前事業年度末に比べて2,447千円減少し、131,875千円となりました。これは、投資その他の資産が2,447千円減少したことによります。

この結果、当第３四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて163,190千円増加し、1,819,030千円となりました。

（負債）

当第３四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末に比べて69,891千円減少し、178,245千円となりました。これは、未払金が99,564千円減少したことなどによります。

当第３四半期会計期間末の固定負債は、前事業年度末に比べて22,851千円減少し、116,471千円となりました。これは、長期借入金が22,920千円減少したことなどによります。

この結果、当第３四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べて92,742千円減少し、294,716千円となりました。

（純資産）

当第３四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べて255,932千円増加し、1,524,313千円となりました。これは、新株予約権の行使による株式の発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ581,098千円増加した一方で、四半期純損失を910,077千円計上したことなどによります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、本日業績予想を修正しております。詳細は本日発表いたしました「業績予想修正に関するお知らせ」をご参照ください。

（４）継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、2025年12月８日に発行した第25回新株予約権の行使による資金調達の実施等により、当第３四半期会計期間末の手元資金（現金及び預金）残高は1,479,247千円となり、財務基盤については安定的に推移しており当面の資金繰りには支障がないものと判断しております。

一方で、事業面におきましては細胞シート再生医療事業の重要課題である細胞シート再生医療第１号製品の早期事業化に向けて、現在、第３相試験を実施しておりますが、現時点において当該製品の承認取得及び収益化に関する具体的な見通しは立っておりません。以上のことから、当社は当第３四半期会計期間末において、引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在していると判断しております。

当社は当該状況の解消を図るべく、引き続き以下の施策に取り組んでおります。

・当社細胞シート再生医療第１号製品の早期事業化の実現と事業提携の推進による収益機会の獲得

当社は、同種軟骨細胞シートの開発を推進するとともに、事業提携先の開拓を通じてさらなる収益機会の獲得を目指し、当社細胞シート再生医療第１号製品の早期事業化と当該状況の解消を図ってまいります。

２．四半期財務諸表及び主な注記

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （2025年12月31日）	当第３四半期会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,318,909	1,479,247
売掛金	6,829	15,362
商品及び製品	23,207	55,852
仕掛品	1,432	6,159
原材料及び貯蔵品	54,134	44,033
その他	117,002	94,342
貸倒引当金	－	△7,843
流動資産合計	1,521,516	1,687,154
固定資産		
投資その他の資産	134,323	131,875
固定資産合計	134,323	131,875
資産合計	1,655,840	1,819,030
負債の部		
流動負債		
買掛金	357	8,871
未払金	190,260	90,695
１年内返済予定の長期借入金	27,504	27,504
賞与引当金	4,394	18,965
その他	25,620	32,208
流動負債合計	248,136	178,245
固定負債		
長期借入金	105,412	82,492
資産除去債務	33,911	33,979
固定負債合計	139,323	116,471
負債合計	387,459	294,716
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,256,326	2,837,425
資本剰余金	104,027	685,126
利益剰余金	△1,104,101	△2,014,178
自己株式	△227	△227
株主資本合計	1,256,025	1,508,144
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,607	1,386
評価・換算差額等合計	1,607	1,386
新株予約権	10,748	14,782
純資産合計	1,268,381	1,524,313
負債純資産合計	1,655,840	1,819,030

（２）四半期損益計算書

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	65,260	42,422
売上原価	33,033	18,953
売上総利益	32,227	23,469
販売費及び一般管理費		
研究開発費	578,340	540,540
その他	278,478	317,075
販売費及び一般管理費合計	856,819	857,616
営業損失（△）	△824,591	△834,147
営業外収益		
受取利息	2,753	4,379
受取手数料	－	259
補助金収入	400	2,700
その他	18	29
営業外収益合計	3,172	7,367
営業外費用		
支払利息	1,465	1,245
新株発行費	－	7,667
為替差損	911	6
その他	－	1
営業外費用合計	2,377	8,921
経常損失（△）	△823,796	△835,701
特別利益		
新株予約権戻入益	2,720	2,114
特別利益合計	2,720	2,114
特別損失		
減損損失	26,717	74,773
特別損失合計	26,717	74,773
税引前四半期純損失（△）	△847,794	△908,359
法人税、住民税及び事業税	1,717	1,717
法人税等合計	1,717	1,717
四半期純損失（△）	△849,511	△910,077

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第３四半期累計期間において、新株予約権の行使により、資金調達を実施いたしました。この結果、当第３四半期会計期間末において資本金が581,098千円、資本剰余金が581,098千円増加し、資本金が2,837,425千円、資本剰余金が685,126千円となっております。

（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期損益計算書計上額（注）２
	再生医療支援事業	細胞シート再生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	63,385	1,875	65,260	－	65,260
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	63,385	1,875	65,260	－	65,260
セグメント損失（△）	△79,551	△578,137	△657,689	△166,901	△824,591

（注）１　セグメント損失（△）の調整額△166,901千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に経営管理部門に係る費用であります。

２　セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「再生医療支援事業」セグメントにおいて26,000千円、各報告セグメントに配分していない全社資産において717千円の固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第３四半期累計期間においては、26,717千円であります。

Ⅱ　当第３四半期累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期損益計算書計上額（注）２
	再生医療支援事業	細胞シート再生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	37,944	4,477	42,422	－	42,422
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	37,944	4,477	42,422	－	42,422
セグメント損失（△）	△100,725	△541,950	△642,675	△191,471	△834,147

（注）１　セグメント損失（△）の調整額△191,471千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に経営管理部門に係る費用であります。

２　セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「再生医療支援事業」セグメントにおいて29,680千円、各報告セグメントに配分していない全社資産において45,093千円の固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第３四半期累計期間においては、74,773千円であります。

（重要な後発事象）

当社が2025年12月８日に発行した第25回新株予約権につき、2026年10月１日から2026年10月31日までの間に、以下のとおり行使されました。

(1) 新株予約権行使の概要

① 新株予約権の名称
株式会社セルシード第25回新株予約権

② 行使価額
１株当たり190円～217円

③ 行使新株予約権数
1,131個

④ 行使者
バークレイズ・バンク・ピーエルシー（Barclays Bank PLC）

⑤ 交付株式数
113,100株

⑥ 行使価額総額
23,503千円

(2) 当該新株予約権行使による発行済株式数及び資本金

① 増加する発行済株式数
113,100株

② 増加する資本金の額
11,774千円